

2024 年度

ケヤキッズスマイルルームの自己評価

【自己評価結果の公開について】

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。

この事を踏まえ、ケヤキッズスマイルルームではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図る為、保育所及び保育士の自己評価を実施しました。今後はこの結果を踏まえ、次年度の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していく事で、保育園の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより良く深まるよう努めて参ります。

1、保育目標

心身共に健やかな生活を送る中で、周囲に対し感謝の気持ちを持つ

年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児
ね ら い	・保健的で安全な環境の中で、一人ひとりのこどもが周囲から受け止め、認められながら、自信・安定感・信頼感を感じ将来にわたる心の基盤を築く	安心できる保育者との関係を基盤として自発性、探索意欲が高まり生きていくうえで必要な数多くの行動を身に付けていく	自立心を大切にしながら、こどもの関心や探索意欲を高め、そこで得られた喜びや感動を保育者やこども同士で共感することで自信に繋げる

2、1 年間の取り組み状況

・姉妹園との学びの場・

姉妹園との公開保育や交流会を通して共に保育の学びを深める機会を作ってきました。

同じ年齢の子を保育しているので、お互いの悩みや助言等も出来、より良い保育を共に考える大切な時間となりました。

・廃材を使った遊びの時間・

こども一人ひとりのイメージを大切に大事に考えて 1 年間取り組んできました。

同じ廃材でも作り上げるものは様々。その子だけの大切な作品となり、その作品をあんべでの作品展に出して保護者の方と共に見て楽しむ良い時間となりました。

・Family Concert・

初めての開催となったコンサートは、音に触れ、こどもも大人も共に楽しい時間となるように企画しました。クリスマスを感じられるような曲やダンスをセレクトし、親子で参加出

来る会となりました。

・ Family Fun Time ・

2 回目の『Family Fun Time』として、親子で楽しめるものをコンセプトにし、企画から 3 園で考えて作り上げられたものは、本当に素晴らしくこども達の表情や楽しんで参加している姿がとても多く見られ、保護者の方同士も競技を通じて親睦が深まり共に楽しみ合える時間となったと感じました。

・ 自然との関わりを大切にする ・

1 年間を通して様々な公園での戸外遊びを楽しみこども達の五感と基礎体力を育んできました。公園内で探索をしたり、草花や昆虫を観察したり触れたり季節ごとに感じられる様々な体験がより良い育ちへと繋がっていました。基礎体力の育ちも大切にし、公園内で段差のあるところや平坦な所を跳ぶ・走る・歩く等様々な動きを楽しみながら行い、簡単なルールのある遊び等も交えて（しっぽ取りゲーム・だるまさんがころんだ・かくれんぼ等）楽しみながら取り組んできました。野菜の苗を植えて水やり等をしながら野菜が育つ楽しさや収穫の楽しさも体験できました。

・ 食育計画 ・

計画に基づき、食について様々な視点から関われるように考えながら取り組んできました。食を通して伝えることの大切さを感じました。

・ 年間保健計画 ・

こどもの健康を守り、こども自身が健康で過ごすための力を身に付けていくことが求められるため、年間保健計画を通して園だよりでの保健コーナーでこどもの健康や病気についてより詳しくお伝えしてきました。

・ アカナコカーナ ・

日々の子育ての悩みを共に考え、共に話し合う中で解決策を考えたり提案したりと、少しでも保護者の方にとってのリフレッシュタイムとなるようにしてきました。特に毎回保護者の方々が笑顔になって取り組んでいるプチワークショップは、親子の共同作品として制作し、今年度は、『こどもが好きな絵本』から抜粋し、保護者の方々も懐かしそうにお話が盛り上がりながらとても充実した時間となりました。

・ 自己評価、園長面談 ・

自己評価をもとに園長面談を行う中で、個々の保育士の頑張りや気づき、次の目標としていく方向性等を話せる大切な時間となった。日頃から抱える悩みや不安がなくなるよう 2 か月おきに個別に話せる場を持つようにし、コミュニケーションを大事にとりながら、個別目標もしっかりとたてられるよう話し合ってきました。

・ 研修報告書の見直し ・

研修に参加するうえで、報告書・会議での報告を行う中で、報告書を充実させるために園で改善すべき点を追加しました。

・シークレット避難訓練・

事前に訓練内容を知らせず、いつ起こるかわからない災害等にもどのような状況でも冷静に命を守る行動ができるか実施し、訓練の大切さを理解し取り組んでいきました。実際にシークレットでの訓練を通し、急な対応でも個々で考えて素早く行動出来ていることがわかり、毎月行ってきた訓練がしっかりと身につけていることが分かり職員の自信にも繋がりました。様々な想定の中で瞬時に考えて動くことの難しさはあるが、命を守るために必要な訓練の大切さを感じました。

・普通救命講習

昨年度動画での講習を受け、その後消防署の方に成人の心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の使用法を学び、職員全員が受講し、普通救命講習修了書を頂きました。
今年度は理事長・統括園長が応急手当普及員の有資格者として、5施設の職員全員が受講することができ、良い学びの時間となりました。

3、 1 年を振り返って

・まとめ・

今年度は様々な分野で保育士がそれぞれ学びを深め、それを共有しみんなで考えながら実践してきたことが個々の保育士としての成長につながったと感じられました。こどもだけでなく、保護者の方にも寄り添い、じっくりと関わることで信頼関係が強くなり、共に子育てに向き合っていたのではないかと感じています。家庭と園との連携がとても大切だと実感した今年度、アカナコカーナや行事を通して、保護者の方々との関わりが更に強くなったと思いました。今後も1つ1つの学びの時間を大切にしていきたいと思います。